

# ライフプラン

## ～人生を設計しよう～

教科・領域 総合的な学習の時間

山陽小野田市立小野田中学校 1 学年

### キャリア教育の観点

1年後の職場体験学習と2年後の進路決定に向け、生徒にとって最も身近な社会人である教員のライフキャリアを聞き、自己の将来設計の参考とする活動です。また、興味ある職業について調べ、自分にふさわしい生き方をライフサイクルプランとしてまとめる活動でもあります。ねらいは次の3つです。

- ① 身近な社会人である教員の話を通じて、自己の生き方を考える機会とする。
- ② 自分にふさわしい生き方を追求し、望ましい勤労観・職業観を育む。
- ③ ライフサイクルプラン作成を通じて、将来に向けて今何をすべきなのかを考える機会とする。

【自己理解・自己管理能力】【キャリアプランニング能力】

### 教師が人生を語る

文化祭後の毎週月曜日の総合的な学習の時間において学年集会を開き、1年部の教員が週替わりで自分のライフキャリアを紹介した。少しでも生徒に興味を持たせるため、講師となる教員はカウンターチェアに座り、自身の興味があったことや夢中になったことを後方のスクリーンに写真や映像を投影したり、大学の卒業制作の作品を提示したり、楽器の演奏を披露しながらプレゼンテーションを行った。

講師となった6名の教員には次のような内容で話をお願いした。

- ・幼少期の夢や中学時代に抱いていた夢
- ・高校や大学進学の際に悩んだ進路選択のエピソード
- ・教員の道を志した動機
- ・教員としての生き甲斐



教員のライフキャリアを聞いた後、生徒たちは次のような感想を書いた。

「上手になりたいならひたすら描け」という言葉が印象に残っています。

先生が美術の先生になるまで、いろいろな仕事や経験をされたんだなあと思いました。

先生の描かれた絵は1つ1つに思いが込められていてすごいなあと思いました。

趣味と仕事は違うということを知りました。趣味が仕事になると幸せなのかなと思いました。先生の話はとてもためになる話ばかりでした。それから、楽器の演奏がすごいと思いました。

私の趣味はピアノ演奏、夢はファッションデザイナーです。先生みたいに両立したいです。

## 身近な方へ職業インタビュー

冬休みの期間を利用して、生徒が身近な社会人の方にインタビューをして、その結果をレポートにまとめる課題を行った。インタビューは家族、親戚、近所の方で、正社員・パートを問わず仕事をされている方1人に、次の7つの質問をした。

1. 今の仕事の特色や内容について教えてください。
2. 今の職業を選んだ理由やその職業に入ったきっかけは何ですか。
3. 今の仕事をしてよかったと思うことは何ですか。
4. 今の仕事で苦労していることは何ですか。
5. 今の職業に必要な資格・免許は何ですか。
6. 今の職業にはどんな人が適していると思いますか。
7. 職業を選択するにあたって、中学生へのアドバイスをお願いします。

職業インタビューレポートは教室に掲示発表した。

## 職業の世界と適性

3学期は各学級で「学ぶ目的」から「職業と適性」までを進路学習として以下の計画に沿って行った。

時間	学習内容	留意事項等
1時間	なぜ、わたしたちは学ぶのか、 なぜ、わたしたちは働くのか。 (学ぶ理由・働く理由を考える)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自分の進路について真剣に考えたことのない生徒が多いと思う。来年の職場体験学習や2年後の進路決定も含めて、進路学習の必要性を認識させる。</li><li>・ 自分が興味を持った職業を詳しく調べることを予告する。</li></ul>
1時間	職業の世界	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 職業の内容特色について知らせる。分類させてみる。</li><li>・ さまざまな働き方とニート、フリーターについて知らせる。</li></ul>
2時間	職業と適性	<ul style="list-style-type: none"><li>・ PASカード診断の結果を見て、適性と興味とのバランスをとりながら、職業調べをする職種を決定させる。</li></ul>

## 将来の自分について考える

学年集会を開き、中学校卒業後の進路についていくつかのルートを提示し説明した。また、生き生きと仕事をする女性獣医のビデオを視聴したのちに、ライフプランのまとめとなる「ライフサイクルプラン」の作成についての説明をした。

ライフサイクルプランの作成については、自分の希望する職業あるいは興味のある職業を1つにしぼり、市内から集められた約150冊以上の職業に関する書籍を使い、その仕事内容・適性・必要となる資格や免許などを詳細に調べ、レポート形式にまとめた。そして中学校卒業後の進路を考え、イラストとともにその過程を設計していった。

ライフサイクルプランの作成については各学級とも図書室で2時間、教室で2時間、計4時間の活動を要した。



# まとめ・発表会

ライフサイクルプランの作成終了後、各学級で発表会を行い、生徒各々が興味や職業観に触れることができた。発表会では発表者一人一人にコメントを書き、その内容を評価した。

ライフサイクルプランについてはすべての学級のプランを製本し、1学年全体に配布し、それぞれが設計した生き方を知ることができた。



**職業名** イラストレーター **1年(3)組(9)番**  
**名前** ( )

☆進路の理由☆  
 私は小さい頃から絵が大好きで、将来はイラストレーターとして活躍したいです。イラストレーターは、自分の好きな絵を多くの人に届けることができるので、とても楽しい仕事だと思います。

イラストレーターになるまで → → →  
 小学校 → 中学校 → 高校 → 専門学校 → 大学 → 就職

収入は？  
 収入は経験によって異なります。週刊誌や月刊誌などの仕事では、1冊あたり数千円から数万円程度です。フリーランスになると、収入はさらに増える可能性があります。

生活のイメージ  
 フリーのイラストレーターは、生活が自由で、好きな時間に好きなだけ働けます。毎日朝起きて、逆时针に生活リズムを整えていきます。

私のライフサイクルプラン  
 15歳 中学校卒業 → 19歳 美術大学に入学 → 23歳 専門学校でイラストを学ぶ → 25歳 本を出版 → 27歳 かわいい子どもを産む

**職業名** 保育士 **1年(2)組(14)番**  
**名前** ( )

☆進路の理由☆  
 私は小さい頃から子どもが好きで、将来は保育士として働きたいです。保育士は、子どもを大切に育て、保護者の方をサポートできる仕事だと思います。

～保育士になるには～  
 保育士になるには、保育士養成課程のある大学や専門学校に進学する必要があります。また、保育士国家試験に合格し、保育士として働く必要があります。

収入は？  
 保育士の給料は、経験や勤務先によって異なります。一般的には、月給15万円から20万円程度です。

職場は？  
 保育士は、保育園や幼稚園、児童福祉施設などで働きます。子どもと接する機会が多く、やりがいのある仕事です。

～保育士のやりがい～  
 保育士のやりがいは、子どもと接する中で生まれます。子どもが成長していく姿を見ることができ、とても幸せなことです。

保育士の1日  
 出勤 → 子供を受け入れる → 朝礼 → おやつ → 子供と自由遊ぶ → 生活動(工作、読書、散歩等) → 昼食 → おやつ

保育士の役割  
 子供と心身ともに健康な状態を維持し、子供の変化を見逃さない。  
 子供の感性を育てる。  
 子供の自主性、社会性を育てる。  
 子供、保護者との信頼関係を築く。

私のライフサイクルプラン  
 15歳 中学校卒業 → 18歳 高校卒業後、保育士になるために大学に進学 → 22歳 保育士国家試験を受ける → 25歳 保育園に就職 → 28歳 結婚

# 考察・課題

この年の8月に発表された文部科学省の調査では、大学を今春卒業した約56万人のうち6%にあたる約3万3千人が、進学や就職の準備をしていないことが報道された。その大半がいわゆる「ニート」とみられ、学校から職場へのスムーズな移行が難しいという若年層の課題が浮き彫りになった。

この現状を踏まえ1学年部では、今こそ働くことの素晴らしさや生き甲斐を、未来を担う子供たちに最大限に実感させたいと考えた。身近な社会人が自らの人生を生々しく語ることで、生徒たちはそのすべてを現実的に受け止め、自分のことに置き換えることができたと感じた。

課題としては、夢を実現させるためにはそれ相応の努力が必要であり、そのことを生徒たちに実行させることにある。また、夢は簡単には叶わないことも現実であり、そこで挫折を感じながらも粘り強く生きていく活力を育むことも我々の使命であると思う。